National

ナショナル 温水式 衛生洗浄器

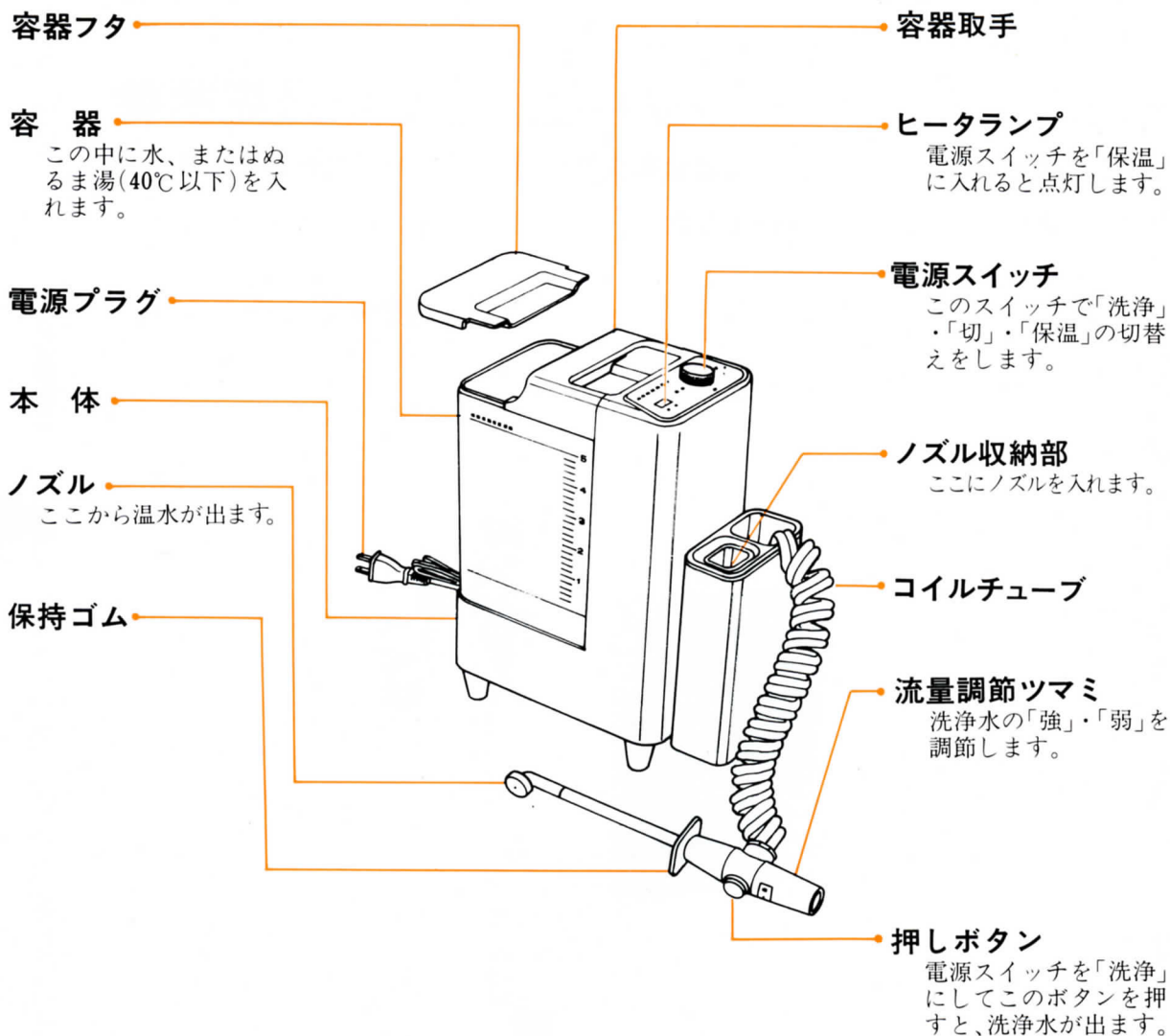
シャワクリーン VI−210S 取扱説明書

このたびは、ナショナル温水式衛生洗浄器をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

上手に使って上手に節電

■この説明書と添付の保証書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。そのあと大切に保管し、わからないとき再読してください。

■保証書は必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。

各部の名称と働き

※アース端子は図の裏側にあります。

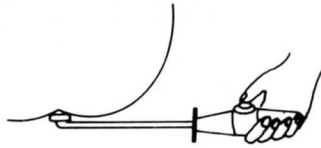
アース工事(第3種接地工事)を必ず行なってください。

(アース工事と合わせて、漏電遮断器の取り付けをおすすめします。)

使用上のご注意

・容器に消毒液や薬品等を入れて使用しないでください。

皮膚がかぶれたり、故障の原因になります。

・ノズルを肛門部に直接当てたり、体内に挿入して使用しないでください。

ノズルの穴づまりの原因になります。

・容器がカラの時は絶対に電源スイッチを入れないでください。

カラ運転や保温ヒータの過熱により故障の原因になります。

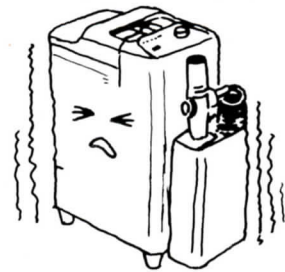
・水をかけたり、水の中につけたりしないでください。

感電や故障の原因になります。

・熱湯を入れることは絶対におさけください。
（水または40℃以下のぬるま湯をご使用ください。）

熱変形による水漏れや、やけどの原因になります。

・３分間以上の連続運転（洗浄）はさけてください。

３分間以上

故障の原因になります。

・**容器には清水、またはぬるま湯**（40℃以下）**以外は入れないでください。**
（風呂の残り湯等を入れますと、ゴミなどがつまり、故障の原因になります。）

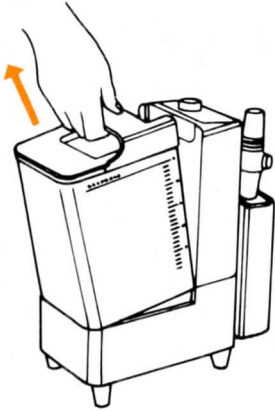
・**冬期凍結の恐れがある場合には電源スイッチを「保温」にするか、特に寒い地方では本体の水抜きを行なってください。**
（詳しくは「凍結防止について」の項をご参照ください。）

・**3～4日以上ご使用にならない場合には、電源プラグを抜き、本体の水抜きを行なってください。**
（水が変質することがあります。）

※水抜き方法は「凍結防止について」の「■最低気温が－5℃以下になる地方では…」の項をご参照ください。

・**トイレ内にコンセントがない場合には、最寄りの工事店にコンセントの設置をご依頼ください。**

※トイレ内の電灯から配線することはおさけください。
（電灯を消すと、衛生洗浄器への電源が切れます。）

1 本体より容器を取りはずします。

図のように斜めにしてゆっくり持ち上げてください。

2 フタを取り、「5」の水位線まで水、またはぬるま湯（40°C以下）を入れます。

ぬるま湯を入れますと、すぐに温水洗浄ができます。

3 容器を元通り本体に取り付けます。

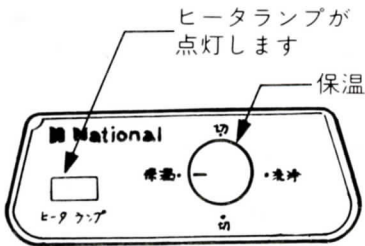
4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「保温」にします。

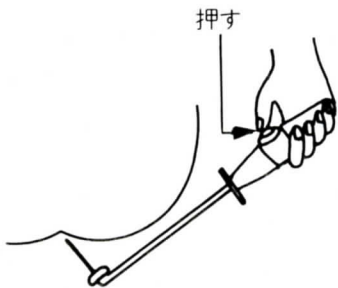
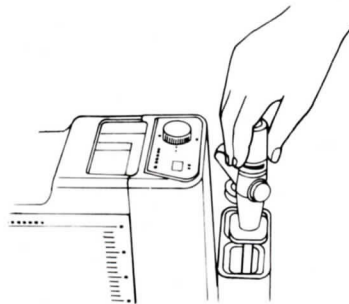
（3時間程度（冬の場合で）適温になります。）

容器がカラの時は、絶対に電源スイッチを入れないでください。

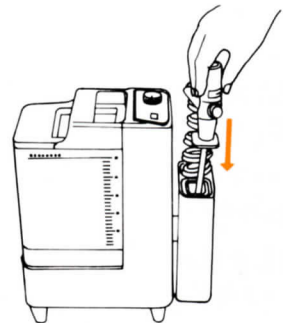
（カラ運転や保温ヒータの過熱により故障の原因になります。）

5 電源スイッチを「洗浄」にし、ノズルを収納部より取り出します。

6 流量調節ツマミを「弱」にし、ノズルを肛門部に向けます。

最初から「強」でご使用になりますと、洗浄水が飛散することがあります。

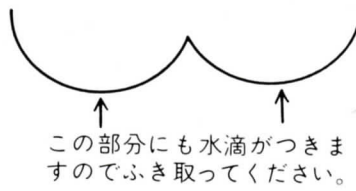
7 押しボタンを押して洗浄水を肛門部に当てます。

1～2秒間程度、冷たい水が出ますが、すぐに温水になります。

8 流量調節ツマミにより水圧を調節し、洗浄します。

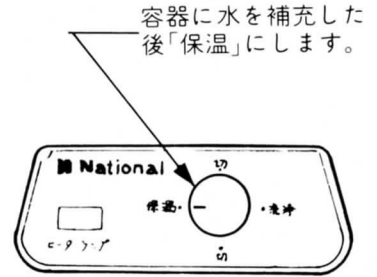
痔疾のかたは「強」で使用されますと、肛門への刺激が強すぎる場合があります。

9 洗浄が終りましたら押しボタンを離し、ノズルを収納します。

方　法

10 容器に水が残っていることを確認し、電源スイッチを「保温」にします。

容器がカラの場合は電源スイッチを「切」にしてください。

11 トイレットペーパー等を厚めに折り、肛門部に軽く当てて水滴を吸い取ります。

便器や周囲に水が飛散した場合は、ふき取ってください。

12 容器の水が少なくなった場合は1～3の要領で水を補充し電源スイッチを「保温」にしておいてください。

洗い方の要領

和式便器の場合

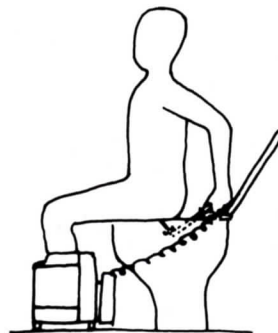
・前からの場合

・横からの場合

※ノズルの角度、方向を誤ると衣類がぬれますのでご注意ください。

洋式便器の場合

・前からの場合

・後からの場合

〈ご注意〉

・2～3日間以上ご使用にならなかった場合には、新しい水と入れ替えた後、ご使用ください。

保温ヒータについて

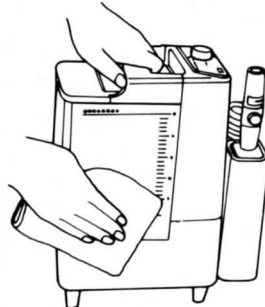
・電源スイッチを「保温」にしますと、容器内の水は保温ヒータにより、38℃前後に保たれます。

・本器を朝ご使用になる場合には、前日のおやすみ前に満水（5の水位線）にし、電源スイッチを「保温」に入れておきますと、翌朝温水がすぐにご使用になれます。

※容器に水を入れてから適温になるまでの時間は右表の通りです。

水　　温	適温になるまでの時間
10℃	約2時間
20℃	約1時間半

お手入れ（お手入れの際は必ず電源プラグを抜いてください。）

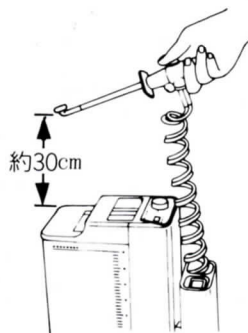
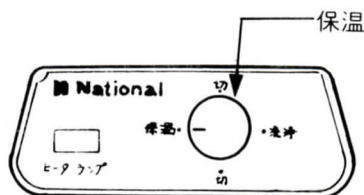
・**汚れた場合は、石けん水にひたした布をよくしぼってふいてください。**
（本体部に水が入らないようご注意ください。）

シンナー、ベンジン、みがき粉、化学ぞうきんなどでふかないでください。（傷や変形の原因になります。）

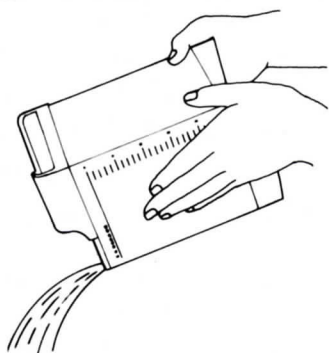
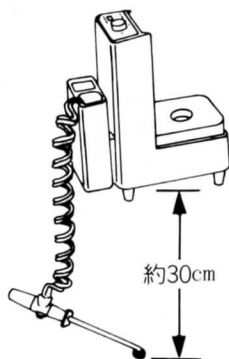
・**ノズル収納部には、水やホコリがたまることがありますので、図のように取り出し、定期的に水洗いしてください。**

※1週間に1回程度、容器を取りはずし、容器内を水ですすぎ洗いしてください。（内部にホコリなどがたまったまま使用されますと、ノズルつまりや故障の原因になります。）

凍結防止について（暖かい地方でご使用のかたも必ずお読みください。）

■ 最低気温が－5℃位までに下がる地方では……

①電源スイッチを「切」にし、ノズルを本体より約30㎝高く持ち上げます。	②そのままで押しボタンを押し、15秒間程度たちましたら押しボタンを離し、ノズルとコイルチューブ内に空気を充満させます。	③ノズルを収納部に入れ、電源スイッチを「保温」にします。
	約15秒間押します 流量調節ツマミは「強」にしておいてください。	容器には必ず水を入れておいてください。

■ 最低気温が－5℃以下になる地方では……

①電源スイッチを「切」にし、容器の水を捨てます。	②ノズルを取り出し、本体をノズルより30㎝程高く持ち上げます。	③そのままで押しボタンを押し、ノズルから水が出なくなるまで水抜きをします。
容器は取りはずしておいてください。		水が出なくなるまで押しつづけます 流量調節ツマミは「強」にしておいてください。

※以上のことを行なっても凍結した場合は…（モータが回らない、またはモータは回るが水が出ない。）

- 容器にぬるま湯（40℃以下）を入れ、電源スイッチを「保温」にして自然にとける（2時間程度）のを待ってください。

〈ご注意〉

- **無理に押しボタンや流量調節ツマミを操作しないでください。**
  （故障の原因になります。）
- **ストーブ等の近くに置いたり、コンロで暖めたりしないでください。**
  （変形の原因になります。）
- **凍結した状態で電源スイッチを「洗浄」にしたままにしないでください。**
  （モータ焼損の原因になります。）

アフターサービスについて

1．保証書(別に添付してあります。)

保証書は、必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間―ご購入日から１年間です。

2．修理を依頼されるとき

次の表に従って調べていただき、直らないときには必ず電源を切ってから、後の処置をしてください。

症状	原因	処置
温水が出ない、または水圧が低い	•電源プラグが抜けかかっている	•確実に差し込みます
	•ノズルの穴づまり	•ノズルの穴を掃除します
	•流量調節ツマミが「弱」になっている	•流量調節ツマミを「強」方向に回します
	•凍結している	•「凍結防止について」の項をご参照ください

- **保証期間中は**
  恐れ入りますが、製品に保証書を添えて、お求めの販売店までご持参ください。
  保証書の規定に従って、販売店で修理致します。
- **保証期間が過ぎているときは**
  お求めの販売店に、まずご相談ください。
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理致します。

3．補修用性能部品の最低保有期間

この衛生洗浄器の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)は、製造打切り後最低５年間保有しております。

4．アフターサービス等について、おわかりにならないとき

お求めの販売店又は最寄りの「ご相談窓口」(別紙一覧表ご参照)にお問合わせください。

仕様

電源	交流100V・50/60Hz共用	容器容量	1.8ℓ
消費電力	50W（保温時）	保護装置	電流ヒューズ（0.5A） 温度ヒューズ（70℃溶断）
最大流量	650cc/min	外形寸法	(幅)126×(奥行)248×(高さ)304(mm)
連続運転期間	3分（洗浄時のみ）	重量	2.2kg
水温	35～41℃	電源コード長さ	1.5m

松下電器産業株式会社　ポンプ・ヘルス事業部
九州松下電器株式会社　応用品事業部
〒812 福岡市博多区美野島４丁目１番62号　電話 福岡(092)431-2111(代)

ZGS0V210S0A　Si08812